

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587045902	科目番号 / Subject code	05870459
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (世界の中のヨーロッパ、アジア、アフリカ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則, 小松 悟, 増田 研, 見原 礼子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学・歯学・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟12F		
担当教員TEL/Tel	2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日3校時 要:メールにてアポイントメント		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	全員で具体的な事例を検討する作業を通して、「ヨーロッパ」、「アジア」、「アフリカ」の<社会・文化・人間>を、それぞれの地域に本質的に備わる固定的なアイデンティティ(同一性)としてとらえるのではなく、その環境(Umwelt=取り囲む世界)である域外の<社会・文化・人間>とのグローバルな相互作用の中で、絶えずゆらぎ、変化し続けるものとして理解する。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ、アジア、アフリカについての固定的なステレオタイプに対して批判的なまなざしを向け、グローバルな社会と文化の変容の中でこれらの地域について論じることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本は講義形式であるが、授業の展開に即して、グループワークや課題レポート作成を行うことになる。したがって、積極的な参加が必須となる。16回目に筆記試験を課す。		
授業内容/Class outline/Con	ヨーロッパからスタートし、アフリカを経て、私たちの生活世界であるアジアに至るという編成を取る。ヨーロッパ編からアフリカ編へ、アフリカ編からアジア編への論点の接続を明確にすることで、講義全体に一つの流れを与える。		
キーワード/Key word	多言語・多文化国家、EUのトルコ系住民、グローバル化と地域、経済発展と貧困・格差、本質主義		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いず授業内容に関連した資料を配付する。可能な限りLACSを用いる。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各回の課題orレスポンスペーパー(45点)、筆記試験(55点)		
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育においては、知識を増やすことも重要ですが、思考の枠組を思い込みやステレオタイプから解き放つことの方がもっと大切です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション: イメージの中の世界地図(葉柳)		
第2回	ヨーロッパ編(1): グローバル化とEU(1)(見原)		
第3回	ヨーロッパ編(2): グローバル化とEU(2)(見原)		
第4回	ヨーロッパ編(3): 非EUヨーロッパスイス(葉柳)		
第5回	ヨーロッパ編(4): ドイツにおけるトルコ系住民(葉柳)		
第6回	ヨーロッパ編(5): オランダ・ベルギーにおけるトルコ系移民(見原)		
第7回	ヨーロッパ編(6): ヨーロッパのイスラームフォビア(見原)		
第8回	アフリカ編(1): アフリカの「世界史」への参入(増田)		
第9回	アフリカ編(2): 人種の社会的構築(増田)		
第10回	アフリカ編(3): アフリカはいつまで貧困か(増田)		
第11回	アフリカ編(4): 社会開発、とくに保健と学校教育(増田)		
第12回	アジア編(1): グローバル化とアジア(小松)		
第13回	アジア編(2): アジアの開発課題(小松)		
第14回	アジア編(3): 持続可能な開発に向けた国際協力の在り方(小松)		
第15回	まとめ: 本質主義を超えて(葉柳)		
第16回	筆記試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046102	科目番号 / Subject code	05870461
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (世界と日本の文化交流)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	野上 建紀		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	野上 建紀		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	野上 建紀		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nogami-takenori@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会1号館		
担当教員TEL/Tel	095-819-2919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (メールにて要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。壊れやすく、再利用が難しいことから、廃棄されやすく、かつ土中や水中にあっても消失することなく残るからである。また、世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となることから最も重要な資料の一つでもある。陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができるのである。日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解き、日本と世界の関わりを理解できるようになることが授業の目的である。		
授業到達目標/Goal	世界に輸出された日本の陶磁器について説明することができるようになる。日本の陶磁器が世界に与えた影響を説明することができるようになる。世界情勢で日本の陶磁器の輸出が発展した過程を説明することができるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	プリントや画像、映像資料、パワーポイント等を利用して、具体的な遺跡やその資料を提示しながら、講義を行う。講義の中で適宜、図や写真を観察しながら情報を引き出す作業を行う。適宜、課題を課す。予習・復習のために長崎市内の関連遺跡や博物館施設の見学を強く勧める。		
授業内容/Class outline/Con	第1回は授業全体のオリエンテーションとする。第2~6回は、遺跡からみた日本の対外交渉・対外交渉を考える。特に海を介した文化交流についてみていく。第7~14回は世界に輸出された日本磁器を題材に、世界と日本の文化交流を考える。その内、第7・8回は日本磁器の海外輸出の時代背景をみる。そして、第9~14回はアジア・ヨーロッパ・アフリカ・アメリカなど地域毎に輸出された日本磁器をみながら、世界と日本の文化交流を考える。第15回は授業を総括し、最終試験あるいは最終レポートを課す。		
キーワード/Key word	陶磁器、文化交流、水中考古学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜、プリントを配布し、教科書は使用しない。参考書は授業の進捗に応じて紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート・小課題の提出状況 5点×15回=75点、最終試験(あるいは最終レポート)25点の計100点		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業内容に関連する長崎市内の施設・遺跡の見学を授業の予復習とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	質問や相談は気軽に研究室へ(事前にメールをください。)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業のオリエンテーション(講義全体の内容や取り組み方などを説明する。)		
第2回	海のシルクロード概論(海を介した文化交流の概要を説明する。)		
第3回	水中考古学概論(海のシルクロード研究において重要な位置にある沈没船研究の方法論を紹介する。)		
第4回	沈没船に見る陶磁器貿易(実際の沈没船資料から当時の陶磁器貿易のあり方を考える。)		
第5回	遺跡からみる文化交流(1)遺跡からみる対外交渉		
第6回	遺跡からみる文化交流(2)窯跡からみる陶磁器文化交流		
第7回	日本磁器の誕生と海外輸出(1)日本磁器の誕生と発展		
第8回	日本磁器の誕生と海外輸出(2)日本磁器の海外輸出		
第9回	アジアに渡った日本磁器(1)台湾・マカオへの海外輸出		

第10回	アジアに渡った日本磁器（2）インドシナ半島への海外輸出
第11回	アジアに渡った日本磁器（3）東南アジア島嶼部への海外輸出
第12回	ヨーロッパ・アフリカに渡った日本磁器
第13回	アメリカ大陸に渡った日本磁器（1）ガレオン貿易と日本磁器
第14回	アメリカ大陸に渡った日本磁器（2）ラテンアメリカに渡った日本磁器
第15回	陶磁器からみた文化交流（総括）
第16回	最終試験（あるいは最終レポート）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046302	科目番号 / Subject code	05870463
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (芸術で見る世界と日本)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	GRAJDIAN MARIA MIHAELA		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	GRAJDIAN MARIA MIHAELA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	GRAJDIAN MARIA MIHAELA		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
授業内容 / Class outline/Con			
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回			
第2回			
第3回			
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046502	科目番号 / Subject code	05870465
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (アジアにおける人の移動と日本)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	賽漢卓娜		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	賽漢卓娜		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	賽漢卓娜		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	saihanjuna@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	多文化社会学部1号館		
担当教員TEL / Tel	095-819-2918		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 2校時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	1970年代以降、「グローバル化」の進展に伴い、ヒト・モノ・カネ・情報がボーダーレスに行き交う時代が到来した。なかでも、「ヒト」の移動 (= 移住現象) は、多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドを背負った人々を「移民」として地球規模で移動させ、先進諸国・地域を中心に社会の「多文化化」を加速させた。アジアにおける人的移動とりわけ激しい。本授業では、韓国、台湾を紹介しつつ、長らく単一民族神話によって語られてきた日本に焦点を当て、すでに「移民の時代」に突入しつつある状況を確認する。そこから目をそらすのではなく、多様な人々といかに協働しより良い社会を築いていくべきか、皆さんとともに考えていきたい。		
授業到達目標 / Goal	履修者は、「より広い視野」を持つ社会の一員として、多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドをもった在日外国人を取り巻く困難な状況やその理由・背景を学び、かれらと「共に生きる (多文化共生)」大切さを発見してほしい。		
授業方法 (学習指導法) / Method	本授業は基本的に講義形式で行われますが、視聴覚機材も利用します。またグループディスカッションもあります。		
授業内容 / Class outline / Con	1 【イントロダクション】移動するということ 2 グローバル化における「移民の時代」 3 アジア域内の移動の加速化と多様性 4 日本の民族、外国人受け入れの現状 5 日本の法制度と外国人労働者受け入れ 6 【エスニックグループ】日系ブラジル人を考える 7 【エスニックグループ】日系ブラジル人を考える 8 【エスニックグループ】ジェンダー不均衡なフィリピン人社会 9 【エスニックグループ】多様な中国人社会 10 【ケーススタディ】学校という現場の多文化共生 11 【ケーススタディ】生活者としての結婚移住女性 12 【ケーススタディ】アメラジアンを考える 13 ディスカッション 14 韓国社会における移民の状況 15 まとめ 16 試験		
キーワード / Key word	移動 エスニシティ ジェンダー		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	本授業では、教科書を指定せず、プリントを用意します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業内課題 (20%) レポート (40%) 定期試験 (40%)。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業外学習は週平均2時間以上実施して下さい。		
学生へのメッセージ / Message for students	各講義において事前に読んで欲しい資料は授業中で指示します。また、日常生活のどのような場面で外国人によく出会うのか、といった身近な出来事にも常に注意を払っておくこと。新聞などに目を通し、特に在日外国人たちがおかれている困難な状況にもセンシティブになっておくとうまいでしょう。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046702	科目番号 / Subject code	05870467
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (宗教から見た日本)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	滝澤 克彦		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	滝澤 克彦		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	滝澤 克彦		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の宗教文化は、その風土を反映し多様性と混合性に富む。この授業では、個別の組織宗教だけではなく、民間信仰やスピリチュアリティに至るまでのさまざまな事例をとりあげ、「日本文化」と呼ばれるものを相対化しつつ現代日本社会の特質に迫る。		
授業到達目標/Goal	(1) 宗教研究の基本的な考え方を理解し、説明できるようになる。 (2) 「宗教」に焦点を当てることで「日本文化」を相対化して論じられるようになる。 (3) 現代日本社会の特定の宗教的側面を捉え、それを自分なりの視点で分析できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	各回の授業内容に示された特定のテーマを採り上げ講義形式の授業を行う。また、授業の終了時には、講義内容に関するアンケートを実施する。その他、状況に応じて事前の課題講読、授業中の質疑討論を行う。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、日本の宗教文化を主題に、宗教研究の基本的な考え方を学び(第1回~第5回)、それに基づき各回のトピックに合わせた具体的な事例を分析する(第6回~第15回)。特に、宗教研究の概論では、われわれが漠然と理解している「宗教」や「日本文化」といったものが、歴史的にどのように対象化されてきたのかということを理解し、その上で「宗教」に焦点を当てることで「文化」や「社会」の見え方がどのように変わってくるかを学習する。各回のトピックにもとづく各論では、生老病死など人間にとって身近な主題を、概論で学んだ宗教研究の視座を通して分析する。それによって、現代日本社会の状況を相対化して捉える視座を養う。		
キーワード/Key word	宗教文化、風土、組織宗教、民間信仰、現代社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的参加(授業ごとのアンケート提出など)50%、学期末試験50%		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	はじめに		
第2回	宗教とは何か		
第3回	日本人と宗教		
第4回	民間信仰論		
第5回	日本文化起源論		
第6回	生業と自然		
第7回	神話と儀礼		
第8回	霊魂と世界		
第9回	死者との関わり		
第10回	病氣と身体		
第11回	高齢化と宗教		
第12回	福祉と宗教		
第13回	災害と宗教		
第14回	現代社会と宗教		
第15回	まとめ		
第16回	試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046902	科目番号 / Subject code	05870469
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (日本のことばと文芸)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 幸恵		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 幸恵		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 幸恵		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yu-iked@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2931		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	さまざまな時代の言語資料を取り上げ、そこに見られる日本語の諸問題を考察することを通して、日本語・日本文化に対する理解を深める。		
授業到達目標/Goal	日本語・日本文化の特徴について説明することができる。 文学作品をさまざまな視点から読み、それを自分の言葉で伝えることができる。 日本語・日本文化の歴史的な変遷について理解し、それを現在の身近な問題と結びつけて考えることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回、次回の授業に関する課題を出し、講義中に解説を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	日本語 日本文学 漢字		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の課題に対する準備内容50%、定期試験50%		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	日本の文字(1)		
第3回	日本の文字(2)		
第4回	日本の文字(3)		
第5回	奈良時代の言語資料(1)		
第6回	奈良時代の言語資料(2)		
第7回	平安時代の言語資料(1)		
第8回	平安時代の言語資料(2)		
第9回	平安時代の言語資料(3)		
第10回	平安時代の言語資料(4)		
第11回	院政・鎌倉時代の言語資料(1)		
第12回	院政・鎌倉時代の言語資料(2)		
第13回	室町時代の言語資料(1)		
第14回	江戸時代の言語資料(2)		
第15回	江戸時代の言語資料		
第16回	テスト		